Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT 報告書

10月16日（金）舞洲フォーミュラトレーニング

10 2026 Oct



REPORT

10月16日（金）舞洲フォーミュラトレーニング

25℃	Track	Driver
	MAISHIMA	Toyoda/Wada/Ishikawa/Sawa

岩佐歩夢選手による特別トレーニングを実施！

5期生の豊田翔太郎（15）と、6期生の和田光ノ介（15）、石川大翔（13）、澤恒太郎（12）の4名がトレーニングに参加しました。この日は秋晴れに恵まれ、過ごしやすい気候の中でトレーニングが行われました。また、半年間にわたって基礎を学んできた4名にとって、今回が同じメンバーで行う最後の舞洲トレーニングとなります。

この日は特別講師として、世界最高峰のF1を舞台に活躍する岩佐歩夢選手が来てくれました。1日を通してスクール生たちの走りをチェックし、直接アドバイスを受けられる貴重な機会となりました。

朝の脱出訓練を終え、実走行のトレーニングへと移ります。まずは直線区間を使用した慣熟走行からスタート。スクール生一人ひとりに対し、岩佐選手からシフト操作やブレーキングについて具体的なアドバイスが送られました。普段のトレーニングでは気づきにくい細かな操作や改善点を指摘され、4名全員の走りに明らかな変化が見られました。アドバイスをすぐに実践へと反映させ、走りの質が一段と向上していきました。

午後からは、設定されたコースを周回するサーキットトレーニングに移ります。これまでは4名の間でタイム差が大きく開いていましたが、岩佐選手から各ドライバーに的確な修正ポイントが伝えられると、その差は一気に縮まりました。それぞれが課題を理解し、走行を重ねるごとに着実な成長を見せていきます。

続いて、見本走行とデータロガーの収集を目的とした岩佐選手の走行が始まりました。普段はF1やスーパーフォーミュラのマシンを操るトップドライバーにとっても、グリップの限られたスクールカーへの適応は決して簡単ではありません。しかし、岩佐選手は素早くマシンの特性をつかみ、さすがの走りでトップタイムを記録。その後はすぐにデータロガーの解析へと移りました。

スクール生それぞれのデータと岩佐選手のデータを比較することで、ブレーキングやアクセル操作など、自分たちでは気づきにくいウィークポイントを発見することができました。朝は岩佐選手を前に緊張した様子を見せていたスクール生たちも、午後にはすっかり打ち解け、積極的に質問する姿が見られるようになりました。

そして、いよいよこの日最後の走行です。それぞれが岩佐選手から受けたアドバイスと、データ解析で見つけた課題の克服を目指してコースイン。最後の走行では、4名全員が自身の走りを修正し、これまでの成果を感じさせる大きな成長を見せてくれました。

今回のトレーニングを通じて、岩佐選手から直接指導を受けることの価値を改めて実感することができました。トップカテゴリーで戦うドライバーの視点や技術に触れたことは、スクール生たちにとって大きな刺激となり、今後の成長につながる非常に貴重な1日となりました。

半年間にわたる舞洲での基礎トレーニングを終えた4名は、次回以降、岡山国際サーキットへと舞台を移します。これまでに身につけた基礎を土台に、より実践的で高度なトレーニングへと進み、さらなるレベルアップを目指していきます。













Junior Drive
Shiraishi Racing School
SPORTS KART
Rental Kart Land
舞洲スポーツアイランド
Yʼs Parts
GARAGE38
Luce ed ombra
FTK corporation
LAPS
PRO e-RACING DRIVERS
INLAY STICKER'S OCKOMO
PAINT BY
O·N·O.inc
River inc.
TV HIKONO

DRIVERS PERFORMANCE

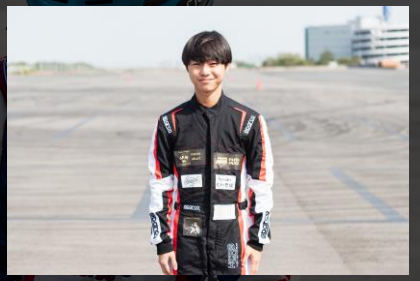
Shotaro - TOYODA（15）

4名の中で最も速さを見せた豊田。岩佐選手に唯一肉薄する走りを披露し、舞洲でのスピードが本物であることを証明しました。特にビッグブレーキングでの技術が際立っており、マシンコントロールの上手さも光っていました。次の舞台となる岡山国際サーキットで、どれだけの速さを見せてくれるのか非常に楽しみです。他の3名もここからさらにレベルアップしてくるはずです。これからは追われる立場として、さらなる速さを追求してもらいたいです。



Konosuke - WADA（15）

半年間の基礎トレーニングを終えた和田。もともと速さを兼ね備えたドライバーであることは間違いありません。今後はフォーミュラマシンの特性や操り方をさらに理解することで、一気にスピードが開花するはずです。この半年間で培った経験と技術を次の舞台でしっかりと発揮し、持ち前の速さを結果につなげてもらいたいです。



Yamato - ISHIKAWA（13）

4月の走り始めは最も苦戦を強いられていた石川でしたが、この半年間で着実に成長し、他の3名との差を大きく縮めることができました。成長率という点では、4名の中で最も大きな伸びを見せたドライバーです。ここからは速さを結果で証明していかなければなりません。常に高い意識を持ち、同期であるライバルたちと切磋琢磨しながら、誰にも負けない速さを身につけてもらいたいです。



Kotaro - SAWA（12）

舞洲での基礎トレーニングを終えた最年少の澤。4月の乗り始めから身長や体格にも変化があり、ドライビングポジションの調整など、難しい時期もありました。しかし、最後にはしっかりと速さを証明し、成長した姿を見せてくれました。「小学生のうちに岡山国際サーキットを走る」という目標を掲げてきた澤。次回はいよいよ、その目標を実現する舞台に立つことになります。新たな環境でどのような走りを見せてくれるのか非常に楽しみです。




Junior Drive
Shiraishi Racing School
SPORTS KART
Rental Kart Land ISK
舞洲スポーツアイランド
Yʼs Parts
GARAGE38
Luce ed ombra
FTK corporation
LAPS
PRO e-RACING DRIVERS
INLAY STICKER'S OCKOMO
PAINT BY
O·N·O.inc
River inc.
TV HIKONO
Junior Drive
Shiraishi Racing School